

電子書籍に「決断」が300円(税別)、「ヨネちゃんのおしゃれ野球学」が200円(税別)でアマゾン、紀伊國屋書店ウェブストア、アンダーライターズストアほかで発売中。アマゾンの場合、<http://goo.gl/wXcE0U>で購入可能。

# 唯一のアマ候補 正義「光栄」も 肩に張り訴え

右肩の疲労により不参加の意思を固めていた、今秋ドラフト1位候補の創価大・田中正義投手(3年)創価大(15日、侍ジャパン代表メンバー発表の会見を受け、八王子市内の創価大で取材に対応した。「選んでいただけたら光栄でした。少し肩に張りが出て様子を見ました」。5日に右肩の疲労が判明。アマ候補

唯一の候補として期待されたが、調整に遅れが生じ、すでにNPB側へ事実上の辞退を申し入れていた。投手練習再開は今月末を予定

## 143キロ右腕打撃も怪物級 U15小野寺 東海大甲府

強豪校で技に磨き「未来のサムライ」が、今年も高校野球を沸かせる。侍ジャパンU-15(15



歳以下)の小野寺瑞生(みずき)投手(15)写真は侍ジャパン公式HPから)が、東海大甲府(山梨)に合格したこと

(1年)とほぼ同じ。右腕から投げる直球の最速は、すでに143キロを誇るスーパー中学生だ。川打つても怪物だ。川崎中央シニア(神奈川)の一員として臨んだ昨年3月のベイスターズカップでは、横浜スタジアムで2打席連

続本塁打。ともに外寄りスライダーを左翼スタンド中段へ運んだ。同シニアは今秋ドラフトの超目玉で最速156キロ右腕の田中正義を輩出。関係者は「現時点では小野寺の方が球も速いし、飛ばす力もある」と話す。小野寺は2020年東京

五輪を20歳で迎える。14日に放送されたテレビ朝日「ビートたけしのスポーツ大将」では、阪神福留と大決。中越え打を浴びたが、素質を絶賛された。清宮経球を併せ持つ小野寺が、母校でさらに技術を磨く。